

> Arcserve UDPアプライアンスの導入で メールデータの復旧をわずか20分で実現

バラバラだったサーバのバックアップを一元化し、管理工数を大幅に削減



ユーザープロフィール

業 種: 教育機関
学校名: 甲南女子大学



課題

建学の理念「まことの人間をつくる」を実践する甲南女子大学では、学内の情報化を進めている。Web メールや教務システムなども整えられており、学生に向けた情報発信や、教職員間のコミュニケーションに活用されていた。半面、情報化によって生じていたのが、サーバの乱立によるバックアップの煩雑さだった。

経緯

バックアップ環境を見直すため、基幹サーバの運用保守を委託していた SI ベンダーに相談したところ、さまざまなバックアップ製品の中から運用面、コスト面の優位性がある「Arcserve UDP Appliance 7300」が提案された。サーバ台数が増加しても追加のライセンス費用がからないメリットが決め手となり、本製品の導入を決めた。

導入

既存のバックアップ環境からの移行は、2015 年度からの三カ年計画で進められている。昨年は学内のバックアップ環境を Arcserve UDP Appliance 7300 に一元化するため、7 月から構築作業をスタートした。学内サーバの導入時期がバラバラだったためアプライアンス内に仮想サーバを構築するなどの対応を行い、12 月に一元化が完了した。

効果

Arcserve UDP Appliance 7300 へバックアップの一元化を行ってから、効率化したのがデータ復旧作業だ。従来は数日かかっていた Web メールデータの復旧が、本製品を導入した後はわずか 20 分で完了するようになった。また重複排除機能によって、バックアップデータ量が 20TB から 5TB まで圧縮され、ストレージ容量の削減にも成功した。



社会に貢献する高い志を持つ女性を育てる大学

兵庫県神戸市に位置する甲南女子大学は、学校法人 甲南女子学園によって経営されている私立大学だ。甲南女子学園は企業家でありながら教育にも広く力を尽くした安宅彌吉を設立主唱者として、1920年に「甲南高等女学校」として設立された。その後変遷を経て、1964年に甲南女子大学が開学し、甲南女子中学校・同高等学校・大学・大学院で構成される総合学園に発展した。再来年で100周年を迎える。

甲南女子大学は、文学部、人間科学部、看護リハビリテーション学部に加え、2018年4月から新設された医療栄養学部の4学部で構成されている。教育理念として「建学の理念を基盤に、品格と国際性を備え、社会に貢献する高い志を持つ女性を育成する」ことを掲げており、看護師や保育士の育成などといった、実学的な学びにも力を入れている。

同大学では学内の情報化を推進し、学生が社会に進出してからも役立つITスキルの獲得を目指している。具体的には、PC教室、CALL教室、無人でノートPCの貸出が可能なロッカーを整備し、学生が必要なときに、自由に端末を使用できる環境を整えているほか、図書館等での貸出も実施している。貸出用端末にはiPadも用意されており、学生の多様なニーズに応える。Wi-Fiも学内全域をカバーしており、学生は場所を選ばず端末を使用して通信が行える環境だ。

Webメールや休講情報などを知らせる教務システムも整備されており、学生への情報発信や、教職員間のコミュニケーション、校務などに役立てられている。しかし、従来の甲南女子大学の情報システムには課題があった。それがバックアップだ。



甲南女子大学
IT・管財課
課長補佐

日野 勝 氏

乱立する学内サーバのバックアップに課題

甲南女子大学の情報システムを管理するIT・管財課 課長補佐の日野 勝氏は、同大学が抱えていたバックアップの課題を次のように振り返る。「学内の情報化を進めるに伴い、基幹サーバ、ファイルサーバ、ADサーバなど、複数のサーバを構築していました。また、経理部門が独自にサーバを導入しており、それぞれ管理やバックアップがバラバラの状況でした。例えば基幹サーバはSIベンダーに構築運用、バックアップ等をお願いしていましたが、そのほかのサーバについてはIT・管財課で運用、バックアップを実施していました」

しかし、それぞれのサーバが別々にバックアップされている環境は、IT・管財課にとって管理負担が大きいものだった。また、SIベンダーに運用を委託していた基幹サーバについても、IT・管財課だけではバックアップデータからの復旧ができないため、学生や教職員からデータの復旧依頼があっても、即時対応が難しいという課題があった。

甲南女子大学 IT・管財課 古地勇介氏は「サーバが乱立していたために管理の手が回らず、バックアップデータがきちんと取得できていないサーバもありました。幸いにもサーバにトラブルがなかったためバックアップデータを利用する機会はなかったのですが、万が一データが失われていたらと思うとゾッとしますね」と語る。

そうしたバックアップの課題を解決するため、甲南女子大学が導入を決めたのが、Arcserve Japan が提供するバックアップアプライアンス「Arcserve UDP Appliance 7300」だ。Arcserve UDP Appliance 7300 は、同社が提供しているバックアップ・リカバリーソフトウェア「Arcserve Unified Data Protection (UDP)」がプリインストールされており、中規模から大規模環境のバックアップや復旧に適している。



甲南女子大学 管理棟 2 階の情報処理センターに設置された Arcserve UDP Appliance 7300。複数の学内サーバのバックアップデータを本製品で一元管理する。



管理のしやすさとコストメリットの高さからアプライアンスを選択



甲南女子大学
IT・管財課

古地勇介 氏

甲南女子大学の情報システムのバックアップに Arcserve UDP Appliance 7300 を選定した理由について、日野氏は「構築・運用をお願いした SI ベンダーの担当者からは、構築の手間が少なく、ほかのサーバと完全に独立してバックアップできるため、障害の切り分けがしやすい点や、Arcserve UDP ソフトウェア版をそれぞれのサーバに導入すると比較して、トータルコストが抑えられる点などで提案いただきました。当学としても、コスト面の優位性などを競合他社製品と比較して、もっとも優れた選択肢として Arcserve UDP Appliance 7300 の導入を決めました」と語る。Arcserve UDP Appliance 7300 は、バックアップ対象となるサーバの数や容量に関わらず、ファイルサーバやアプリケーションサーバのイメージバックアップに適した「Arcserve UDP Advanced Edition」ライセンスが無制限に使える。甲南女子大学のような複数のサーバが構築されていたり、今後サーバ台数が増えたりする可能性が高い環境には最適な製品なのだ。

既存のバックアップ環境からの移行は 2015 年度からの三ヵ年計画で進められている。昨年度はサーバごとにバラバラになっていたバックアップ環境を Arcserve UDP Appliance 7300 へ一元化し、確実にバックアップを取得できる環境を整えた。

既存環境から Arcserve UDP Appliance 7300 へバックアップ環境を統合するにあたり、どのようなスケジュールで移行を進めたのだろうか。日野氏は「Arcserve UDP Appliance 7300 の導入を決めたのが 7 月頃です。そこから 9 月頃までには約 8 割の設定が完了しました。しかし、当学で導入していたサーバがそれぞれ OS のバージョンが異なっており、Arcserve UDP Appliance 7300 にインストールされている Arcserve UDP のバージョンと合わず調整が必要となる部分が出てきました。そのため、実際に Arcserve UDP Appliance 7300 にバックアップ環境を一元化できたのは 2017 年 12 月頃です」と話す。

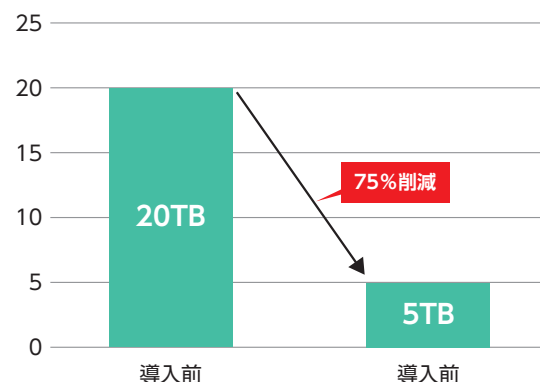
バージョンの異なる環境の中で、Arcserve UDP Appliance 7300 をどのように最適化させたのだろうか。「SI ベンダーの担当者によれば、Arcserve UDP Appliance 7300 内にバックアップ用の仮想サーバを個別に構築し、バージョンが合わないサーバのバックアップをそちらで取得するようにしました」と古地氏は語る。SI ベンダーが Arcserve Japan とこのバックアップ手法について協議を重ね、可能なことを確認した上で、構築をスタートさせた。「環境の調整に時間を要したものの、Arcserve Japan の対応が迅速でしたので、円滑に導入が完了しました」と日野氏。

復旧時間やデータ容量を大幅に削減

実際に Arcserve UDP Appliance 7300 に一元化させたことで、甲南女子大学のバックアップ環境はどのように変化したのだろうか。既存のバックアップ環境では取得できていなかったバックアップデータが存在したため、初回バックアップは非常に時間がかかったという。しかし、Arcserve UDP Appliance 7300 のフルバックアップは初回だけでよく、以降のバックアップは増分だけの運用が可能のため、その後のバックアップ時間は大幅に短縮されたという。重複排除にも対応しており、バックアップのデータ容量は 20TB から 5TB まで削減できた。バックアップはスケジュールによって設定されているため、IT・管財課は特に意識することなく、データのバックアップが取得できている。

「Arcserve UDP Appliance 7300 を導入してから、

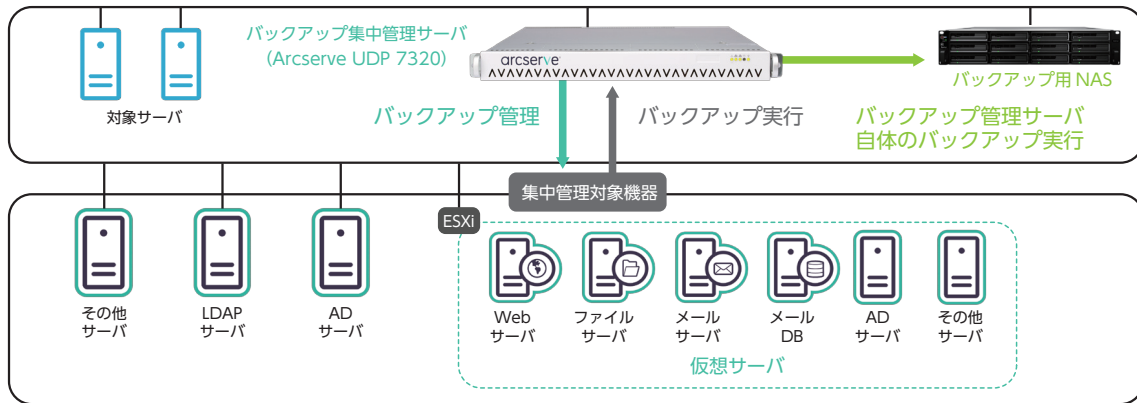
Arcserve UDPアプライアンス導入による
バックアップデータの削減効果





サーバ構成図

管理棟 2 階 サーバ室



データ復旧も行いやすくなりました。以前は基幹サーバで管理していた Web メールなどは、操作ミスによってデータが消えてしまった場合 SI ベンダーに連絡して復旧してもらう必要がありましたが、Arcserve UDP Appliance 7300 の導入後は、IT・管財課が Web コンソールを利用して復旧が行えるようになりました」と日野氏は導入後の効果を語る。具体的には、導入以前は数日かかっていた Web メールデータの復旧が、導入後は 20 分程度で復旧できるようになったのだ。ほかにも、フォルダー単位のリストアなど、大学側で対処できる復旧作業が増え、学生や教職員から好評だという。

こうしたデータ復旧の行いやすさは、SI ベンダーのような販売店側からしてもメリットが大きい。Arcserve UDP Appliance 7300 導入以前はコマンドレベルでリモート操作してデータの復旧を行っていたが、Arcserve UDP Appliance 7300 導入後は前述したようにユーザー側でデータ復旧が行えるようになったため、運用負担が低減されている。Arcserve UDP Appliance 7300 はユーザー側からの満足度が高いだけでなく、販売店側からしても手離れがよい製品なのだ。

甲南女子大学では、今後も学内の情報化を進めていく。具体的には、2018 年度中に Office 365 を導入してスマートフォンへプッシュによる情報配信に対応したり、スマートフォンと PC との情報共有をしやすくしたりすることで、学生の満足度向上に努める。「Arcserve UDP Appliance 7300 は Office 365 のバックアップにも対応しているため、クラウドのバックアップ対応も進めていきたいですね」と古地氏。また、甲南女子学園の甲南女子中学校・高等学校の IT 環境についても IT・管財課が管理しており、そちらも Arcserve UDP Appliance 7300 によるバックアップ対象にしていきたい考えだ。

arcserve®

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。
製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
Copyright ©2018 Arcserve (USA), LLC. All right reserved.

Arcserve Japan

お問い合わせ

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
Arcserve ジャパン ダイレクト 0120-410-116 (平日 9:00~17:30)
JapanDirect@arcserve.com

WEBサイト: <https://arcserve.com/jp>
※記載事項は変更になる場合がございます。2018年6月現在